



命と人権を守るためにメッセージ展

国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日の第3回総会において、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言を採択し、1950年（昭和25年）12月4日の第5回総会において、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が、この日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うよう、要請する決議を採択した。

わが国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が、同宣言が採択されたことを記念して、1949年（昭和24年）から毎年12月4日から12月10日を「人権週間」と定めており、その期間中、各種の人権啓発活動を行っている。

横浜国際人権センター本部は、人権週間の前の11月3日、そこ
う横浜店で開催した、第19回神奈川県人権メッセージ展「大切な
あなた 大切なわたし」に参加した。

このメッセージ展には、大学の国際交流ボランティアサークル、
女性会議などの団体と協賛企業が数多く参加しており、子ども人権
推進事業啓発作品集「伝えたい～ありがとうの気持ち～」標語の優
秀作品の展示、ぬりえコーナー、抽選コーナー、地元若手歌手による
人権メッセージソングなど数多くのイベントも行われていた。

横浜国際人権センターでは、「命と人権を守るためにメッセージ
展」と題して、国連WFPから借用したパネル、著名人からのメッセージパネルなどを展示し、啓発活動を行な
った。

パネル展には、多くの方が見学に訪れ、その方々と話をする中で、多くの方が程度の大小はあるが、差別やいじめを体験しているとのことだった。

その方々の感想を一部紹介すると

「現在の社会には、本当に問題点が多いと思いました。一人でも多くの方が真剣にこれらの問題に向かい合えば、少しはよい世界になるのでは」

「人権って大切だとわかりました。私自身も障害者なので、今までいじめや差別は何度も経験しました。結婚してやはり主人の言葉になんとなくおかしさがあり、難しいものだと感じました。」

「一番当たり前に「相手の立場に立って考える」という事ができない人が多くなっていると思います。自分もはっと思う時があります。子どもたちには、人権を考える機会は何度もあった方が良いと思います。今は親ですら自分中心の人が多い世の中ですから、国をあげて取組むべき問題だと思います。時代は変わっても、人の心は変わらないでいて欲しいです。」

「現在の生活が、いかに幸せかを痛感しました。世界中の平和と人権を守ることが、何よりも大事なことだと思っています。」

これらの感想はほんの一部ですので、山梨ブランチでは、このような感想が出ることのない世の中にしていく
為に、今後も積極的に人権施策を推進していくのでご協力をお願いします。

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ブランチ

代表 横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会会長）

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階 Tel 055-243-8563